

若者目線で進路に助言

浜坂高生と社会人交流会

OB企画、貴重な学びに

浜坂高(新温泉町芦屋)は10日、2年生を対象に校内でOBや町内に住む若者との交流会を開催した。若い社会人との交流を通じて、生徒に将来の選択を考へる機会の一つにしてほしいと実施。年齢もさほど離れていないだけに、生徒たちはぎゅぐゅらんに質問を投げかけて会話を弾ませ、卒業後の進路について思いを巡らせていた。(岡村博)



生徒との交流で会話を進める村尾さん(中央奥)ら＝10日、新温泉町芦屋の浜坂高

と学校に打診したところ、了承が得られ実現した。2クラス(1クラス34人)が、別々に交流会を実施。村尾さんのほか町内在住の若者8人が参加し、六つに分かれた生徒の班に1人ずつ加わった。生徒は高校時代の同校に対する印象をインタビューするなど、若者との会話を進めた。

卒業後の進路を専門学校か大学かで迷っているという女子生徒には、若者側から「大学では専門学校より多くの情報が入ってくる。自分の時間に余裕があれば、大学でいいのでは」といったアドバイスもあった。

会話の内容は、班ごとにまとめて発表。中には都会から帰ってきて分かることもあると聞き、自分も一度町外に出てから帰って来て感じてみたいと話す男子生徒もいた。岡村宙羽さん(17)は「すごく貴重な体験になり、こういう選択肢があるのだと、学べるのがたくさんあった」と振り返っていた。